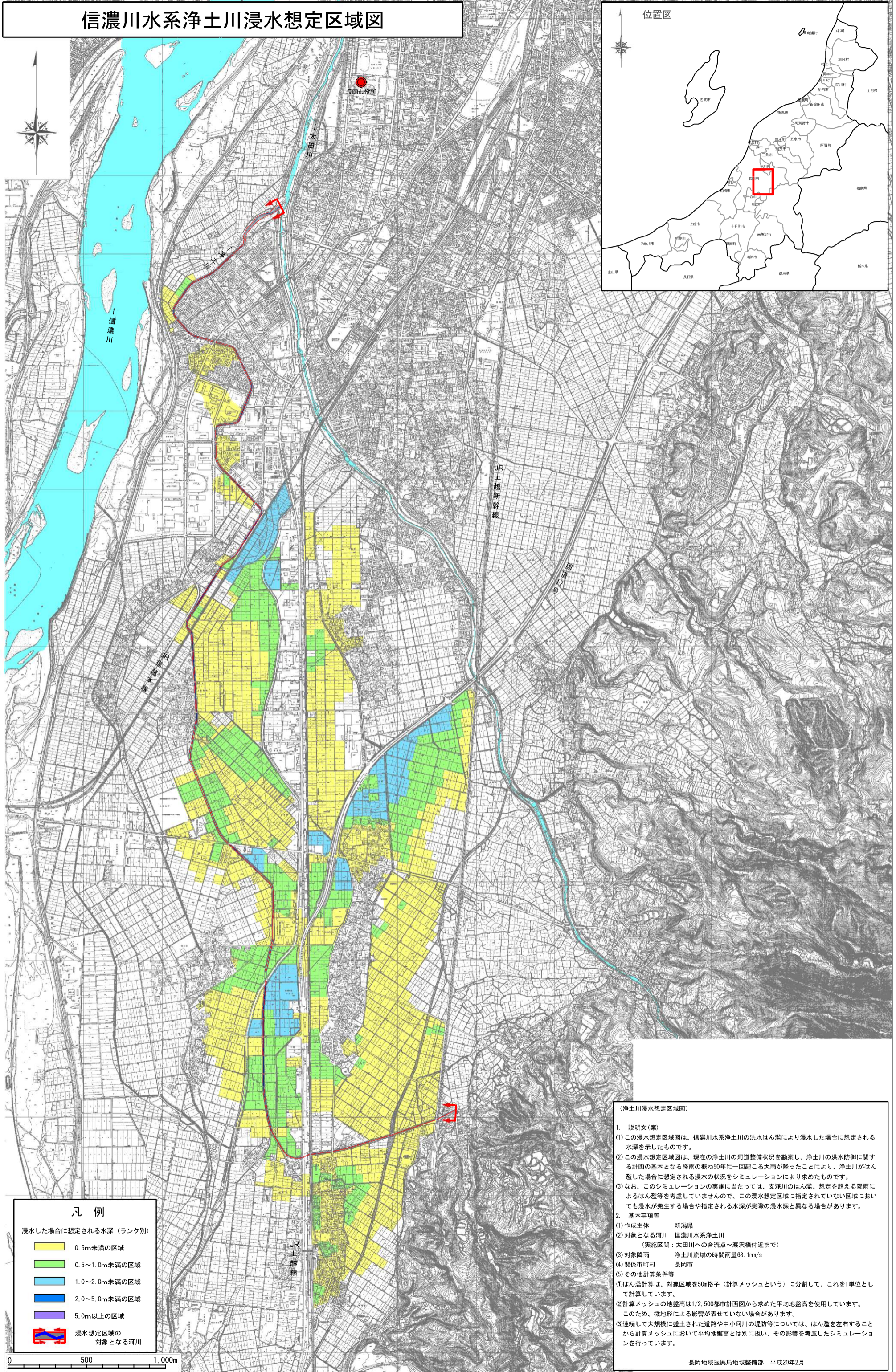


# 信濃川水系浄土川浸水想定区域図

位置図



## 凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 浸水想定区域の対象となる河川

（浄土川浸水想定区域図）

1. 説明文(案)
  - (1) この浸水想定区域図は、信濃川水系浄土川の洪水はん濫により浸水した場合に想定される水深を示したものです。
  - (2) この浸水想定区域図は、現在の浄土川の河道整備状況を勘案し、浄土川の洪水防御に関する計画の基本となる降雨の概ね50年に一回起こる大雨が降ったことにより、浄土川がはん濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支派川のはん濫、想定を超える降雨によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や指定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
  - (1) 作成主体 新潟県
  - (2) 対象となる河川 信濃川水系浄土川  
(実施区間：太田川への合流点～渡沢橋付近まで)
  - (3) 対象降雨 浄土川流域の時間雨量68.1mm/s
  - (4) 関係市町村 長岡市
  - (5) その他計算条件等
    - ①はん濫計算は、対象区域を50m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
    - ②計算メッシュの地盤高は1/2,500都市計画図から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
    - ③連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、はん濫を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。